

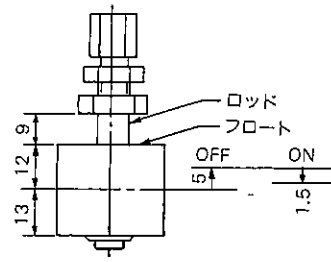
● 浸水検出器

浸水検出器としては当社では第10図に示すようなフロート式のものを使用しています。

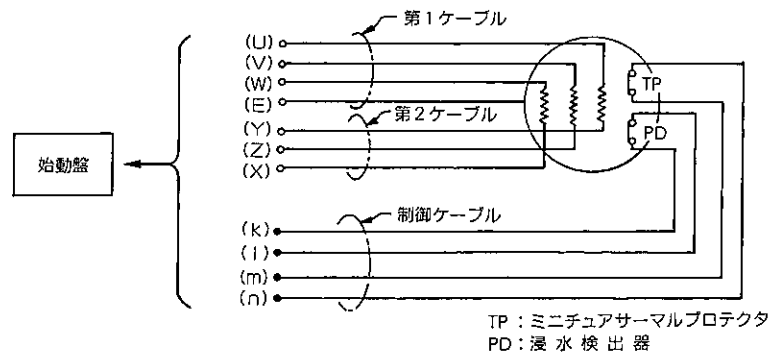
ポンプ内のモータ室下部に接続した浸水溜めに取り付けられます。図示のロッド内部にリードリレーが収納されており、フロートが上昇すると、接点がOFFになります。下降すれば接点がONになります。したがって、前記のミニチュアサーマルプロテクタと同様にb接点として使用します。

2本の引出し線は外部の始動盤または制御盤の操作回路に接続されます。

第11図はミニチュアサーマルプロテクタとともに浸水検出器も使用された場合における接続例を示したものです。



第10図 浸水検出器 (寸法:mm)



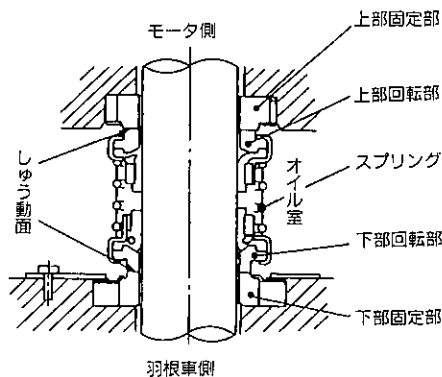
第11図 全体接続図

● メカニカルシール

ダブルメカニカル方式あるいは、メカニカルシールとオイルシールとの組合せにより、モータ内部への浸水を防止しています。

当社のメカニカルシールは、一般にSIC（炭化けい

素）を多く採用しています(第12図)。SICのメカニカルシールは、超合金よりも硬く、温度変化にも強く、耐食性及び潤滑性にも優れているため、比較的長寿命化がはかれます。



第12図 SIC採用の軸封装置